**校長室の窓から****「自分らしく」歩むために**

鶴川内中学校 校長

新年あけましておめでとうございます。令和8年の新しい年を迎えました。厳しい寒さの年明けとなりましたが、冬休み中に大きな事故もなく、生徒たちが元気に登校し、3学期の始業式を迎えたことを心から嬉しく思います。

私は1月4日、阿久根市の「二十歳のつどい」に出席してきました。実行委員長の挨拶や新成人代表の決意の言葉は、堂々として力強く立派なものでした。職場の壁にぶつかりながらも夢へ進む決意や、学業への情熱、そして家族や仲間への感謝が誠実な言葉で語られ、清々しく、頼もしい気持ちになれた素晴らしい式典でした。彼らの姿に共通していたのは自分の足でこれから的人生を切り拓こうとする強い意志でした。

今、世界は驚くべきスピードで変化しており、まさに「予測困難な時代」といわれています。毎年のように続く異常気象や自然災害、これまでの常識が通用しない多様な生き方が私たちの日常の一部になりました。スマートフォン一つあれば、世界中のあらゆる情報に触れ、誰とでもつながることができます。しかし、その一方で、あまりにも情報が多くすぎて、何を信じればいいのか判断が難しくなっている現実もあります。こうした激動の社会において、中学生に求められる力もまた、大きく変わろうとしています。

これからの時代、単に「テストのために暗記した知識」だけでは十分ではありません。大切なのは、手に入れた知識を組み合わせて目の前の課題をどう解決するか、そして「失敗を恐れず、自分はどうありたいかを考えて動くこと」です。この「主体性」を持って自らを動かす習慣こそ、中学生のうちにぜひ身に付けてほしいと願っています。

- ・「こうなりたい」という理想の自分を思い描くこと
- ・夢や目標に向かって、自ら計画を立てること
- ・失敗してもあきらめず、工夫を凝らして最後までやり遂げること

人によって目指すゴールが違っていいのは当然です。大事なのは、誰かに言われたからやるのではなく、自分の人生を自分の足で、「自分らしく」歩んでいく力です。

1年生は中学校生活にも慣れ、中堅学年への階段を上る時期となり、「先輩に教えてもらう」側から、4月には「後輩に背中を見せる」側へと変わります。この3学期は、自分の得意なことだけでなく、苦手なことにも自ら向き合う「主体性」を意識してほしいと思います。

2年生は2学期後半から生徒会活動を引き継ぎ、これまでにも様々な場面で活動の中心となって取り組んできました。これからも「自分たちの学校をどうしたいか」という思いを大切にし、自ら動くことで、これからの鶴川内中学校の姿をよりよいものに変えていってほしいと思います。

いよいよ今月から、私立高校の入試が始まります。3年生にとって、自らの進路を自分で決める最初の大きなハードルです。今、自分が持っている力を、そのまま出し切ってほしい。3年生の健闘を心から応援しています！

主な行事予定

月	日	曜	1月中旬～2月の主な行事
1	15	木	1年鹿児島学力・学習状況調査（～16日）
	16	金	第3回英語検定
	20	火	2年鹿児島学力・学習状況調査（～21日）
	21	水	新入生説明会
	21	水	スクールカウンセラー来校
	23	金	PTA役員選出に係る話合い
	30	金	3年学級PTA・授業参観
2	3	火	学校運営協議会
	5	木	教育相談（～6日）
	14	土	土曜授業 立志式・立志記念講演
	17	火	学年末テスト（～19日）
	19	木	防災訓練（火災）
	20	金	1・2年学級PTA・授業参観
	25	水	スクールカウンセラー来校

3学期始業式

新しい年を迎え、生徒自身がこれまでの生活を振り返り、3学期終了時を見通して、それぞれの目標を自分の言葉で表現し、発表しました。



努力目標

3学期の目標を立て、新年の決意をしよう。

一事徹底

スコラ手帳を活用し、生活のリズムを整えよう。

校内持久走大会

昨年度から男女共に距離を3kmとして実施しています。

どの生徒もこれまでの日々の練習を生かして、自己記録の更新を目指して、最後まで走りきることができました。

保護者の皆様、ご協力とご声援をありがとうございました。

男子

1位：山口 敦士
2位：森 海秋

女子

1位：中野 純伶
2位：尾崎 妃菜
躍進賞：森 海秋



児童と触れ合う活動

12月15日
～自分の幼少期を振り返りながら～

技術・家庭科（家庭分野）の授業では、児童との触れ合いについての授業を行っています。本年度も、みどりが丘保育園のみなさんに協力していただき実施しました。

短い時間ではありましたが、自作した道具で児童と遊ぶ体験を通して、児童にとっての遊びの意味や児童との関わり方を学んだり、児童の発達や特徴について学んだりすることができました。

また、児童と関わる中で、自己肯定感を高める機会にもなりました。



12月13日
～全員の自己記録の更新を目指して～

福祉体験教室

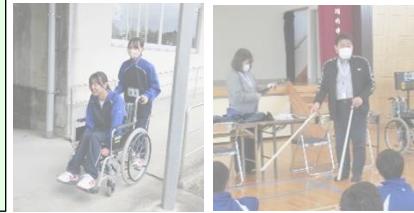
12月19日

～相手を思いやる気持ち・心でつながる～

阿久根市社会福祉協議会のみなさんに協力していただき、福祉体験教室を実施しました。

装具を使った高齢になったときの体験や白杖を使って歩く体験、車椅子に乗る・押す体験などを通して、思いやりの心をもち、自分を含めた地域に暮らす人々の日常生活の課題に目を向け、考えるきっかけとなりました。

今後は、それらの課題を解決する行動ができるように、これからの中学校生活で学び続けてほしいと思います。



PTA門松つくり

12月21日

～保護者・生徒・学校の繁栄を願って～

多くの方のご協力で、鶴中ならではの門松ができあがりました。ご協力に感謝いたします。

生徒も、竹を切ったり、飾り付けをしたりと、共に門松つくりに参加する中で、みんなで取り組む楽しさを感じていました。

保護者の皆様、朝早くから、ご協力ありがとうございました。



学校評価アンケートより

12月に2学期の学校評価アンケートを実施しました。保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございました。各項目、4段階で評価していただき、主な結果は以下のとおりでした。

平均 (3.05) 3.0以上の項目：12 3.0未満の項目：6

- 楽しく学校生活を送っている。(3.56)
- 各種行事を工夫し、充実した活動を行っている。(3.56)
- 生徒の健康や安全に関する指導を行っている(3.44)
- 家庭学習を充実させている。(2.06)

家庭学習は、1学期と同様の結果でおよそ2ポイントのままでした。家庭と連携して取組を工夫し、学力向上に努めています。子供たちがよりよい学校生活を送れるよう、更に改善を行っていきます。